

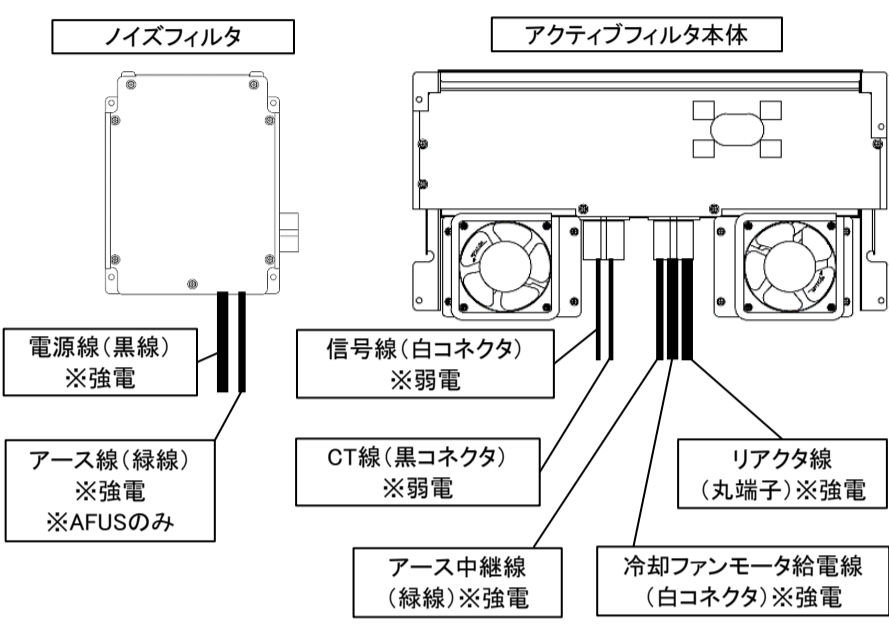
アクティブフィルタ取付要領図

対象機種	FDC(S)P2241, 2801LXZ FDC(S)P3351LXZ-N
------	--

- 本書はアクティブフィルタ取付要領を示します。必要部品を確認の上、取付手順に従い作業を実施してください。
- 各項目の作業終了の都度、「工事チェックシート(P.4)」に従い確認を行ってください。
- 高所作業があります。上るための作業台を準備し、安全に注意して作業してください。
- 室外機の上に工具等を置かないでください。室外機内に落下し配管等を傷つけるリスクがあります。
- 各部品取付の際は、配線の挟み込み無きよう注意してください。

安全上のご注意

- 製品の運搬は十分注意し、梱包箱を持って行ってください。PPバンドを持って製品を運搬すると、バンド破損、落下等のリスクがあります。
- アクティブフィルタを室外機に組付する際は、製品を落下させないよう、十分注意して作業を行ってください。
- 配線は確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 濡れた手でスイッチを操作しないでください。感電の原因になることがあります。
- アース(接地)は確実に実施してください。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。
- 素手で板金などに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。
- 分解・改造は絶対にしないでください。

本体	パーツセット			
 <p>ノイズフィルタ</p> <p>アクティブフィルタ本体</p> <p>電源線(黒線) ※強電</p> <p>アース線(緑線) ※強電 ※AFUSのみ</p> <p>信号線(白コネクタ) ※弱電</p> <p>CT線(黒コネクタ) ※弱電</p> <p>リアクタ線(丸端子) ※強電</p> <p>アース中継線(緑線) ※強電</p> <p>冷却ファンモータ給電線(白コネクタ) ※強電</p>	①パネル	②吸排気口	③カレントトランス(CT)	④タッピンネジ ※1
	⑤アースネジ	⑥タイマウント	⑦結束バンド	⑧結線銘板
	⑨高温注意ラベル	⑩異常表示説明書	⑪フレーム	⑫結束バンド
	⑬板クランプ			

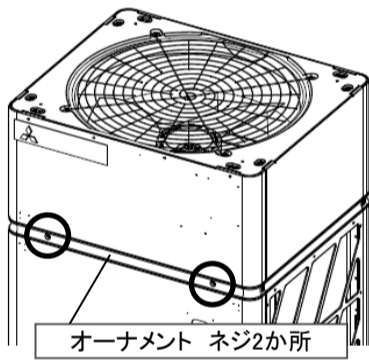
※1. アクティブフィルタ組付用および室外機コントロールリッド用のネジは全長12mmに対し、室外機パネル用のネジは全長17mmと長さが異なります。アクティブフィルタ組付作業時に、長さ違いのネジが混ざらないよう注意してください。

取付手順

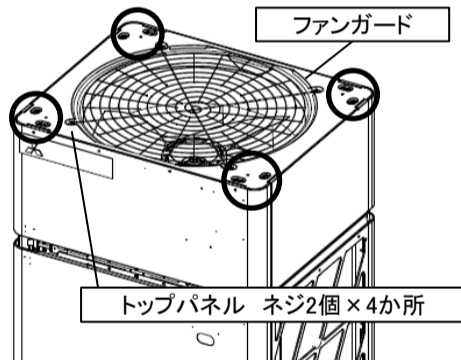
1. 室外機の外板パネルの取り外し

※パネルの両サイドは爪で引っ掛ける構造となっているため、上方へずらしながら取り外してください。詳細は室外機据説を参照ください。

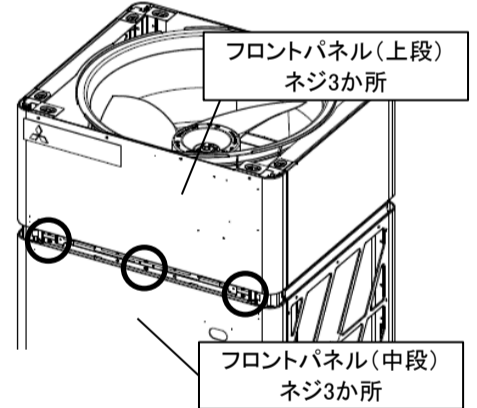
(1)ネジを外しオーナメントを取り外してください。



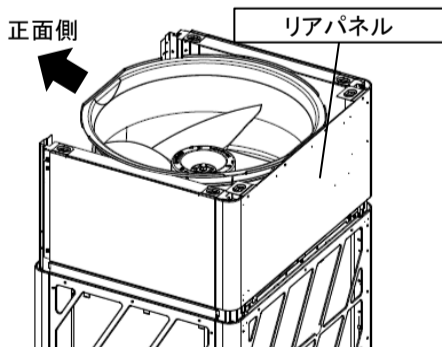
(2)ネジを外しトップパネルを外してください。
※取り外す際、ファンガード(ワイヤ部品)は引っ張らないでください。



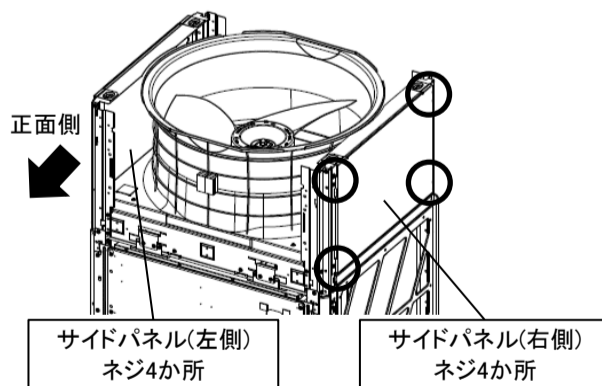
(3)ネジを外しフロントパネル(上段、中段)を外してください。



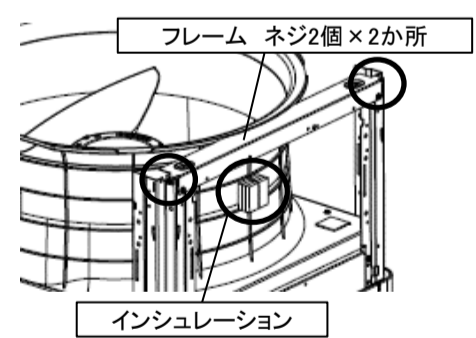
(4)ネジを外しリアパネルも外してください。
(1)(3)と同様の手順でネジを外してください。



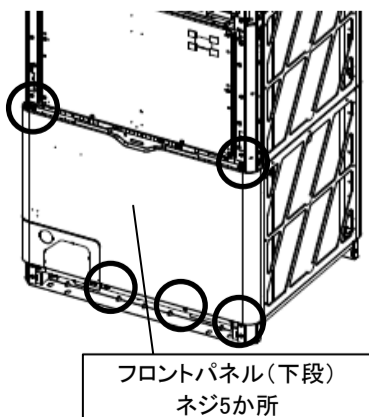
(5)ネジを外しサイドパネル(左右両側)を外してください。



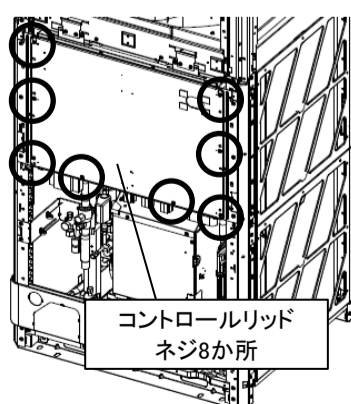
(6)右側面のネジを外しフレームを外してください。
また、下図に示すインシュレーションも取り外してください。



(7)ネジを外しフロントパネル(下段)を外してください。

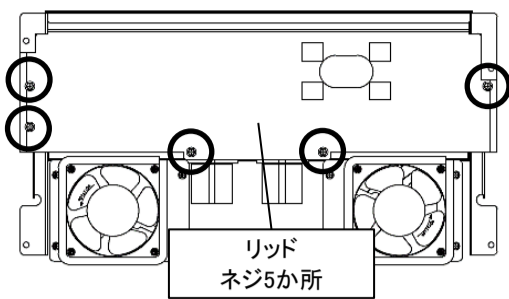


(8)ネジを外しコントロールリッドを外してください。

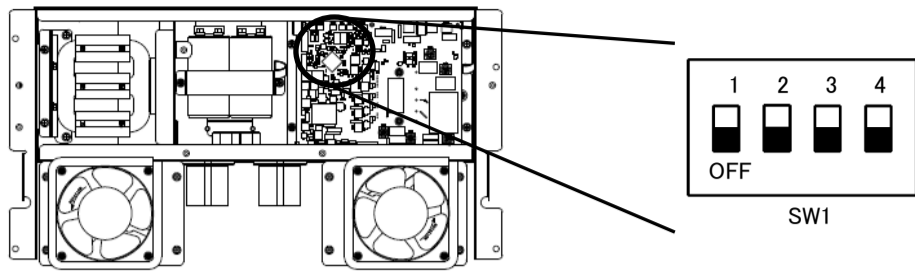


2. アクティブフィルタのSW設定【取付前の作業】

(1) アクティブフィルタ本体のリッドを外してください。



(2) 制御基板上にあるSW1が全てOFFであることを確認してください。(工事チェックシート a 項)



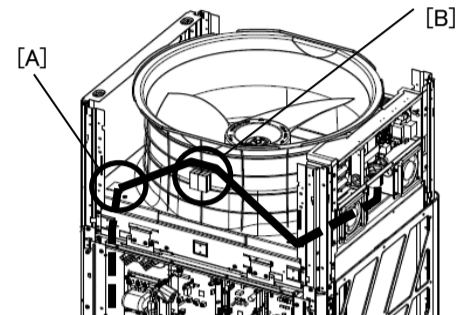
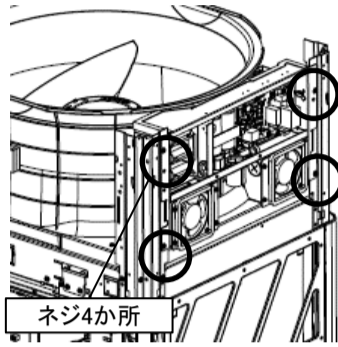
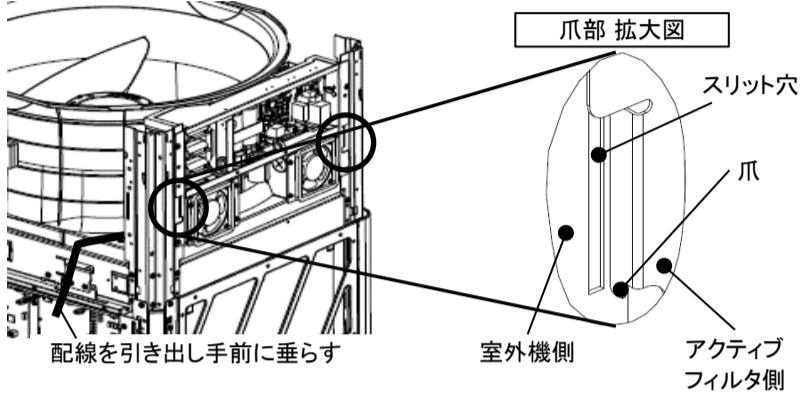
3. アクティブフィルタを室外機に組付

<アクティブフィルタ本体を室外機の右側面に組付>

(1) アクティブフィルタ本体から出ている配線を図のように引き出し、本体の両サイドの爪を、図の位置のスリット穴にかけてください。

(2) 付属の④タッピンネジ4個で、本体と室外機フレームを固定してください。

(3) 下記丸印のシール部[A]を十字にカットし、CT線と信号線を通してください。その際、インシュレーション[B]の上に引っ掛けてください。

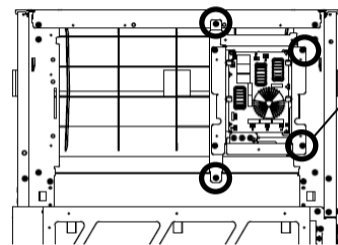
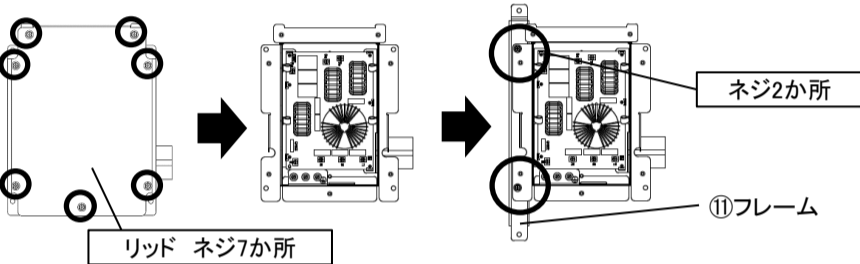


※配線を通す際は、先端を紐などで束ねると作業しやすいです。

<ノイズフィルタを室外機の左側面に組付>

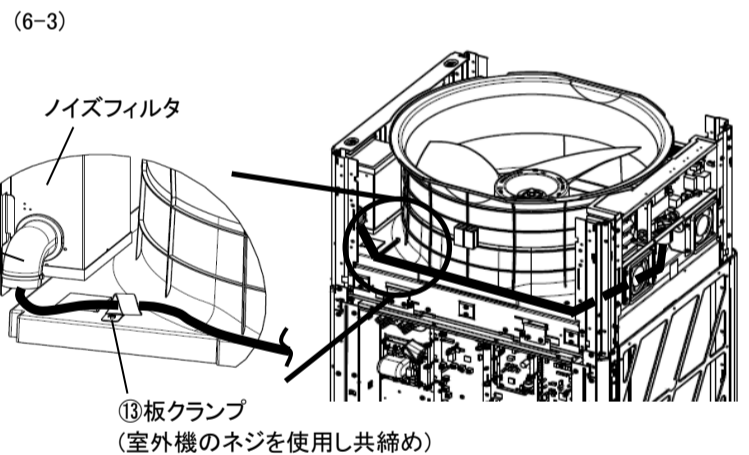
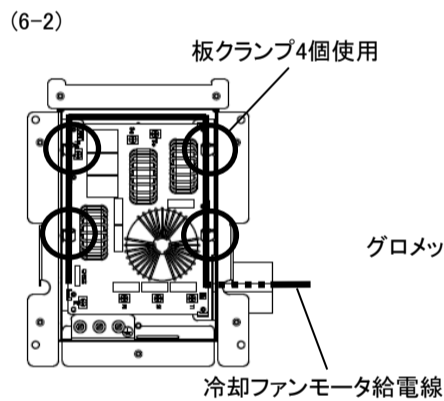
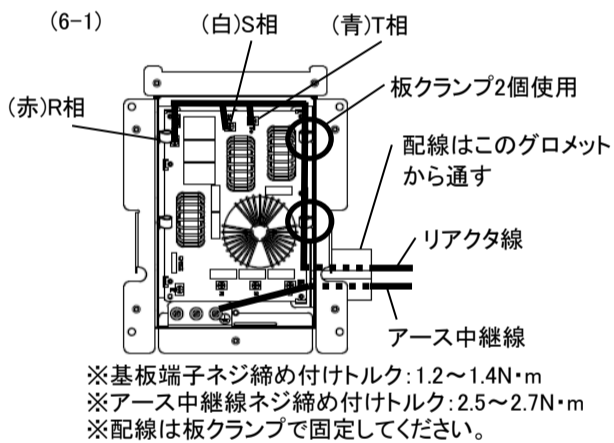
(4) ノイズフィルタのリッドを外してください。付属の①フレームを④タッピンネジ2個で取付してください。

(5) ノイズフィルタの配線(電源線、アース線 ※AFUSのみ)を(3)で空けたシール部[A]に通してから、板金を室外機左側面の図の位置に組付してください。



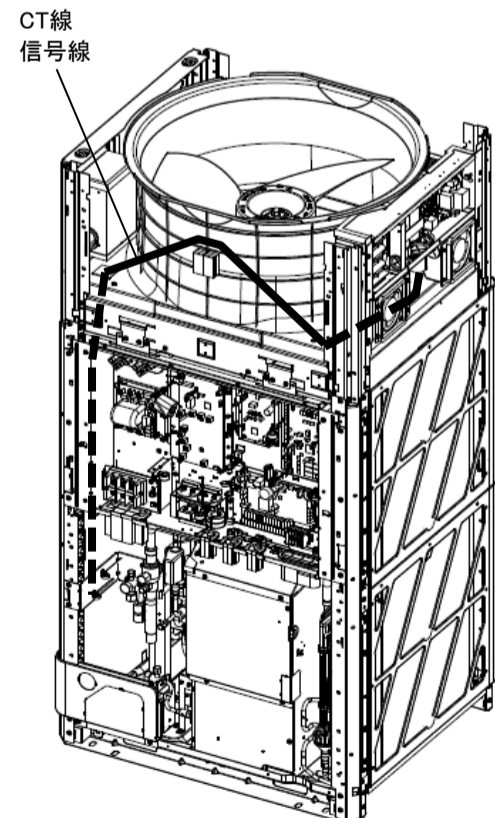
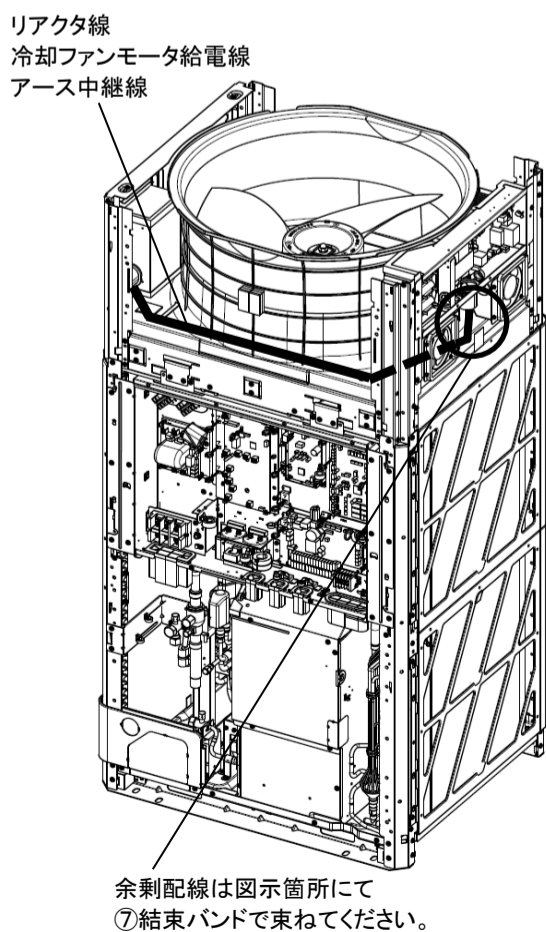
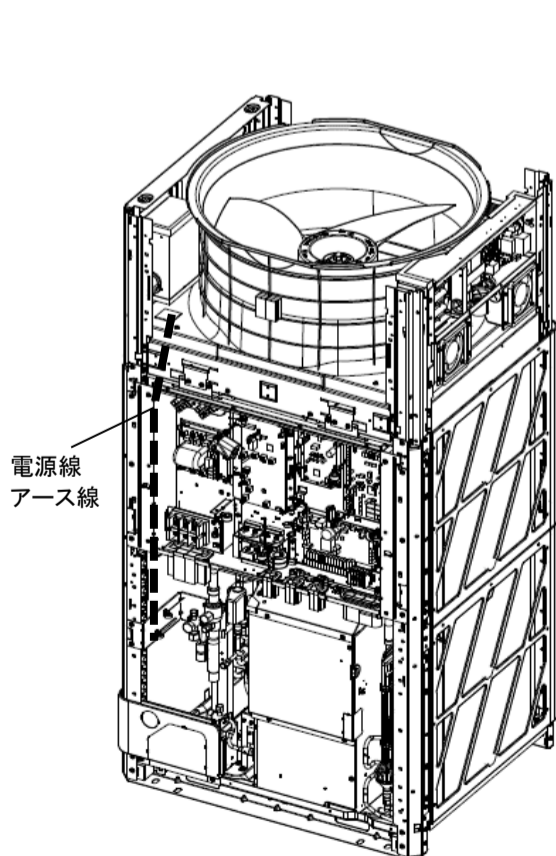
1. ノイズフィルタの爪をフレームに掛ける
2. ①フレームとノイズフィルタを付属の④タッピンネジ4個で固定する(丸印)

(6) アクティブフィルタ本体から引き回した配線を、ノイズフィルタの側面から通して、ノイズフィルタ基板に接続してください。(工事チェックシート b 項)
配線接続後、⑬板クランプにて配線を固定してグロメットの口が下向きになるようにしてください。(工事チェックシート i 項)



※基板端子ネジ締め付けトルク: 1.2~1.4N・m
※アース中継線ネジ締め付けトルク: 2.5~2.7N・m
※配線は板クランプで固定してください。

・各配線の経路



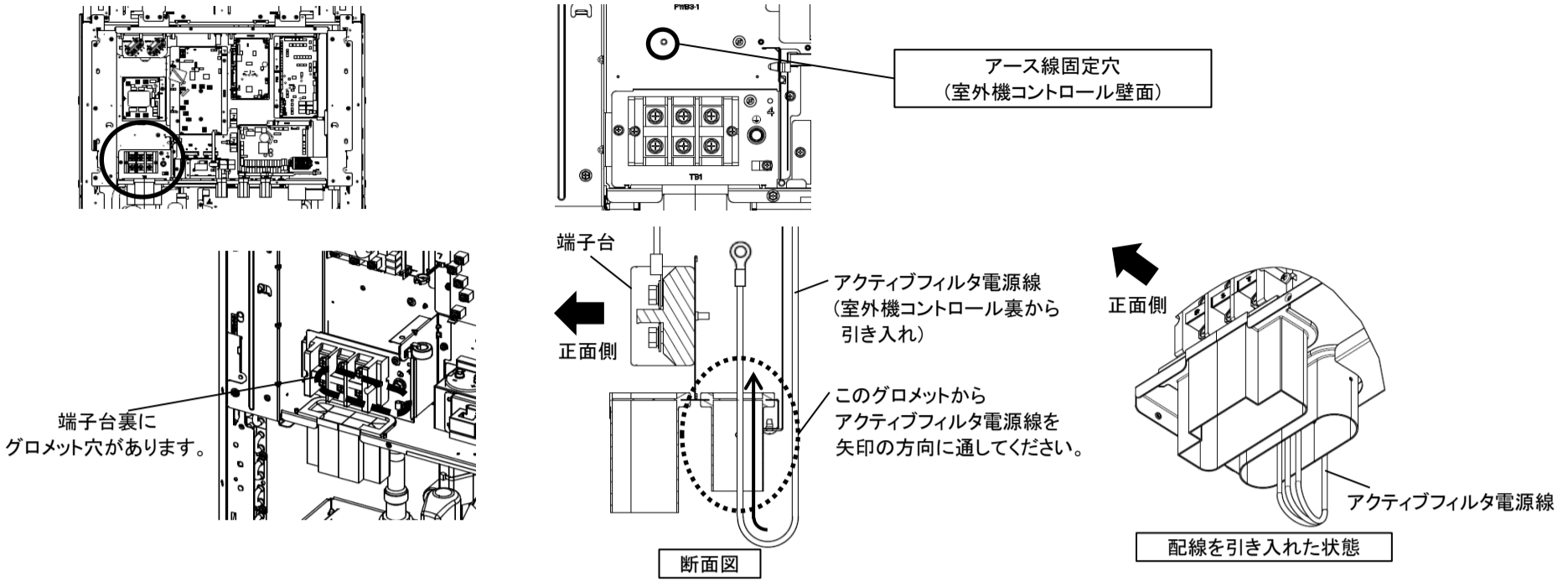
4. アクティブフィルタ配線を室外機コントロールに接続

(1) アクティブフィルタの電源線を室外機コントロールの端子台に接続してください。

(1-1) アクティブフィルタ電源線を端子台裏のグロメット穴から室外機コントロール内に引き入れてください。

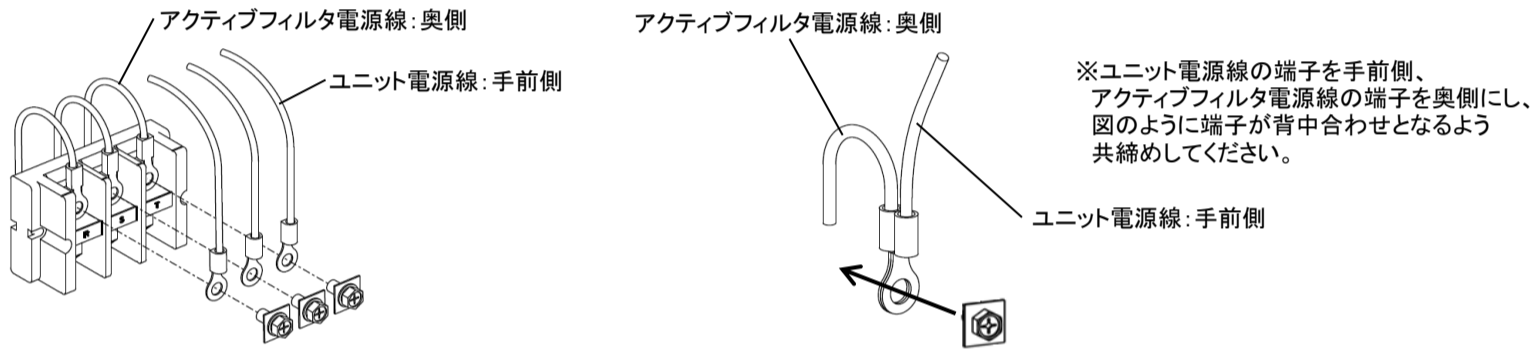
※(AFUSのみ)ノイズフィルタから出たアース線も同様に引き入れ、付属の⑤アースネジを用いて、室外機コントロールの図の位置の穴に固定してください。

(アースネジ締め付けトルク: 2.5~2.7N・m)



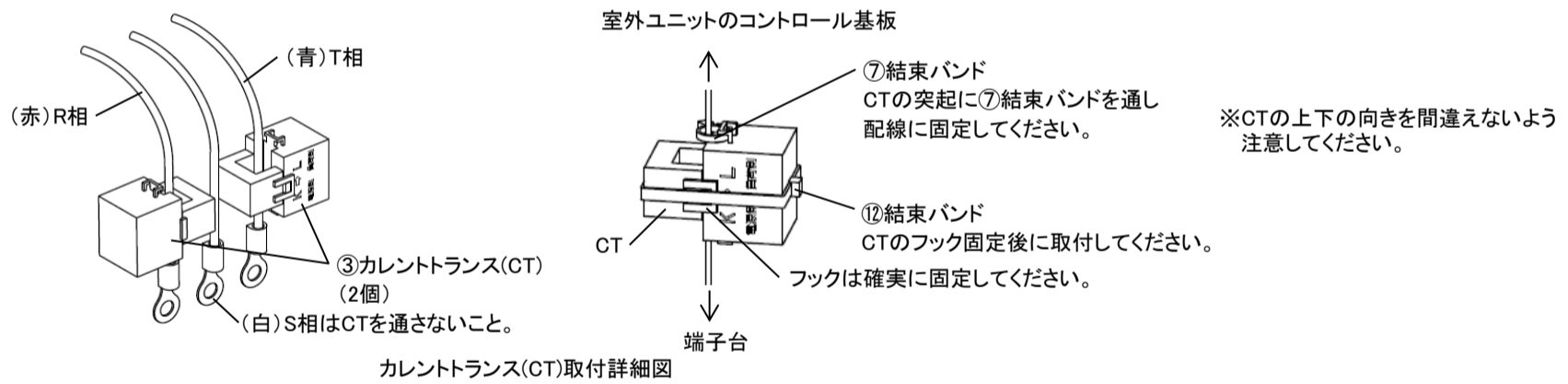
(1-2) 室外機コントロールの端子台から、上列のネジ3個(赤)R相、(白)S相、(青)T相を取り外してください。

(1-3) 取り外したユニット電源線の丸端子と、アクティブフィルタ電源線の丸端子を、共締めして端子台に接続してください。(工事チェックシート c 項)
※端子ネジ締め付けトルク: 7.0~9.0N・m



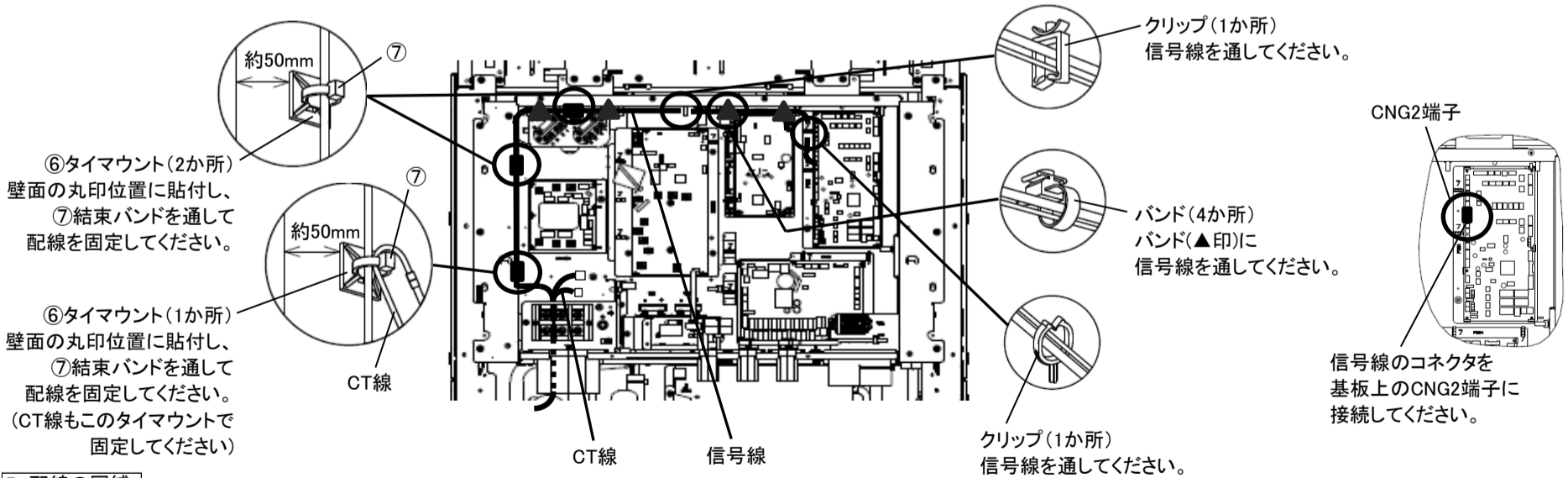
(1-4) ユニット電源線と③カレントランス(CT)を接続します。

ユニット電源線の(赤)R相、(青)T相にカレントランス(CT)を取付してください。(工事チェックシート d 項)



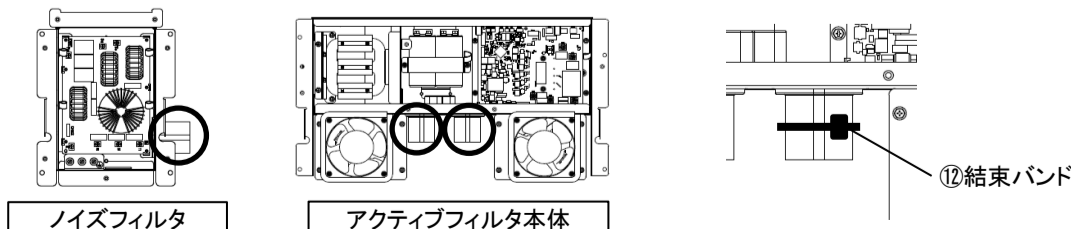
(2) CT線を端子台裏のグロメット穴から室外機コントロール内に引き入れ、CTのコネクタと接続してください。(工事チェックシート e 項)

(3) 信号線を下記の経路で、室外機コントロール内に組付してください。(工事チェックシート f 項)



5. 配線の固縛

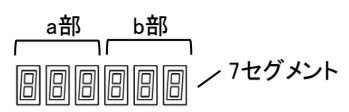
・配線作業が全て完了したら、アクティブフィルタ本体およびノイズフィルタの配線が出ているグロメット(3か所)の口を⑫結束バンドで固縛してください。



6. 制御の切換

・室外機コントロールの制御基板上にある外部入力(CNG2)割り当てを「アクティブフィルタ定期点検表示」もしくは「アクティブフィルタ異常表示」に設定してください。(工事チェックシート g 項)
 ※設定の際は電源投入後、1分以上経過してから電源OFFしてください。

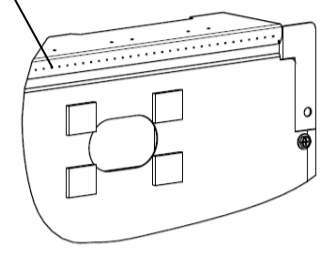
- ・設定方法:
 SW7(データ書込/決定)、SW8(7セグメント表示アップ:1位)、SW9(7セグメント表示アップ:10位)にて行ってください。
 1)SW9を押してa部を[P10]としてください。
 2)SW7を長押ししてb部を点滅させてください。
 3)SW8、SW9を操作してb部を[アクティブフィルタ定期点検表示:10]もしくは[アクティブフィルタ異常表示:11]としてください。
 4)SW7を長押しして設定を完了させてください。(b部連続点灯)



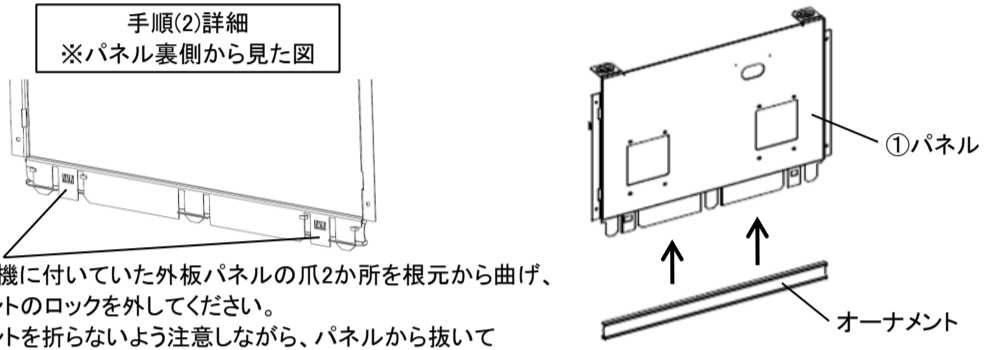
7. パネル組付

- (1)アクティブフィルタ本体およびノイズフィルタのリッドを、元々付いていたネジ(12mm)で元通りに取付してください。
 (2)元々付いていた外板パネルから、オーナメントを取り外し、①のパネルに取付してください。
 (3)②のパネルを室外機に取付し、ネジ(17mm)で組付してください。
 (4)パネル取付後、冷却ファン周りに付いているインシュレーションが見えないように指で押し込んでください。
 (アクティブフィルタの運転中、インシュレーションがファンに巻き込まれると故障の原因になります)
 (5)②吸排気口を2枚、付属の④タッピンネジ(12mm)で組付してください。(向きに注意してください)
 (6)⑨高温注意ラベルを、下図の位置に貼付してください。
 (7)室外機コントロールのリッドを、元々付いていたネジ(12mm)で元通りに取付してください。
 (8)⑧結線銘板を、下図の位置に貼付してください。(フロントパネル(中段)の裏面になります)
 (9)すべての外板部品を、元々付いていたネジ(17mm)で元通りに取付してください。(トップパネルは最後に取付してください)
 ※⑩異常表示説明書は、室外機の取扱説明書および据付説明書とともにお客様で保管して頂くように依頼してください。

手順(1)
 アクティブフィルタ本体のリッド取付の際は、リッド上部を本体板金の内側に差し込んでください。

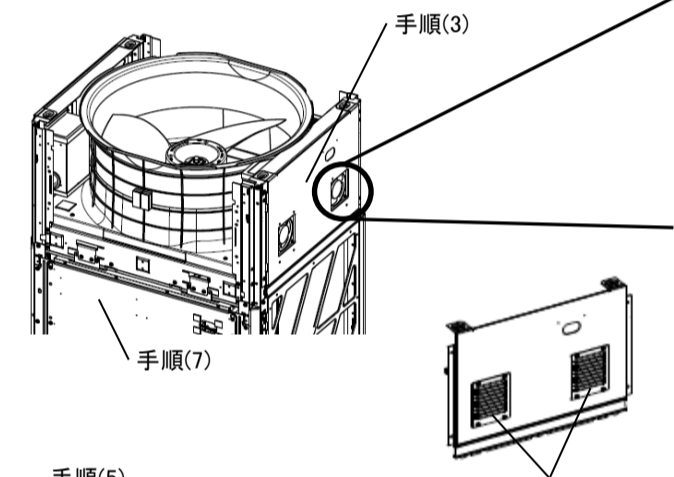


手順(2)詳細
 ※パネル裏側から見た図

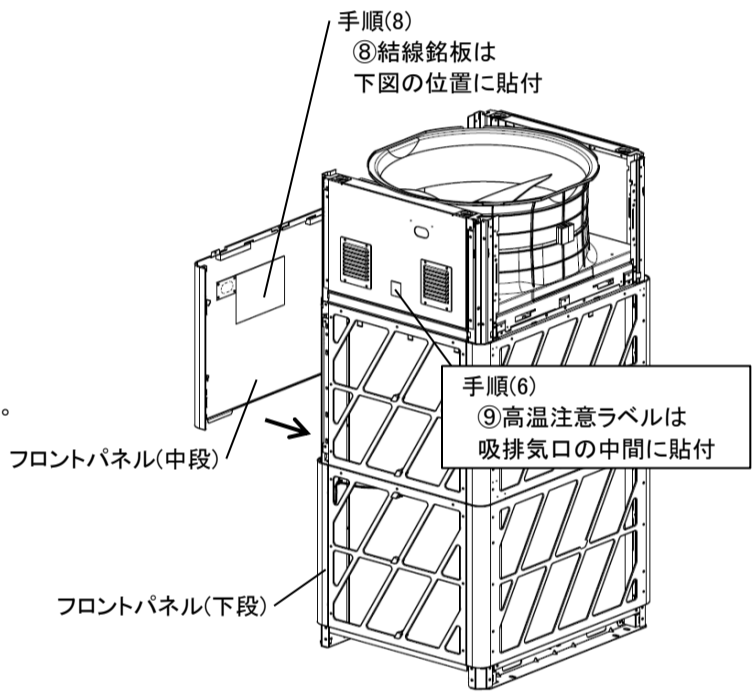
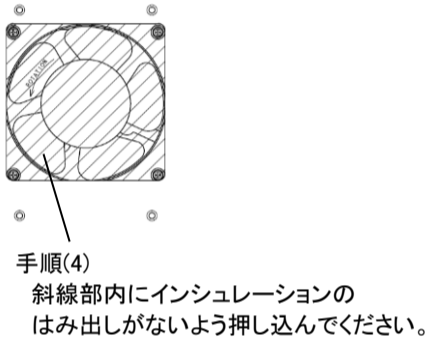


1. 元々室外機に付いていた外板パネルの爪2か所を根元から曲げ、オーナメントのロックを外してください。
 2. オーナメントを折らないよう注意しながら、パネルから抜いて取り外してください。

3. オーナメントを①のパネルに、元のパネルと同じ向きで取付してください。オーナメントのロック2か所がはまったことを確認してください。
 ※元々室外機についていた外板パネルは処分してください。



- 手順(5)
 ②吸排気口は左右とも開口部が下向きになるように組付してください。(工事チェックシート h 項)
 ※注意: 吸排気口は確実にタッピンネジで固定してください。固定が不十分な場合、吸排気口が脱落するおそれがあります。(運転中、ファンに触れると怪我の原因になります)



工事チェックシート(アクティブフィルタ取付機)

機種・号機	チェック者:所属、氏名	作成年月日
-------	-------------	-------

取付工事

項目	内容	基準	結果	処置結果
a	アクティブフィルタの制御基板上にあるスイッチ設定(SW1)を確認しましたか?	・ 全て OFF		
b	ノイズフィルタに接続される配線接続は正しいですか?	・リアクタ線(赤)R相、(白)S相、(青)T相 ・端子台のネジに緩みが無いこと ・冷却モータ給電線の端子が確実に接続されていること		
c	室外ユニット本体に接続される電源線接続は正しいですか?	・室外ユニットのコントロール基板接続線側に取付 ・(赤)R相、(白)S相、(青)T相 ・端子台のネジに緩みがないこと		
d	室外ユニットコントロールBOXへのCT取付は正しいですか?	・端子台と室外ユニットのコントロール基板接続の電源線に取付 ・(赤)R相、(青)T相 ・向き([K]端子台側、[L]室外ユニットのコントロール基板側)		
e	室外ユニットコントロールBOXへのCT線接続は正しいですか?	・CT線の配線ラベル([R]、[T])とCT取付先の位相((赤)R相、(青)T相)が合っていること		
f	室外ユニットコントロールBOXへの信号線接続は正しいですか?	・接続先: 制御基板上(CNG2) ・手順書の図の通りに配線取り回しすること		
g	室外ユニット本体の制御基板上の外部入力(CNG2)割り当ては設定しましたか?	・アクティブフィルタ定期点検表示 ・アクティブフィルタ異常表示設定は技術資料参照ください		
h	吸排気口のスリット方向は正しいですか?	・吸排気口の開口部が両方下向きになっていること		
i	ノイズフィルタ側面のグロメットから出る配線を板クランプで正しく固定しましたか?	・グロメットの口が確実に下に向くよう配線を板クランプで固定すること		

注)結果欄は基準を満たしていれば○、満たしていなければ×と処置事項を記入し、その他気付き事項があれば記載ください。

試運転

- ・エアコン本体の運転を行い、入力電流が20Aを超えた状態でアクティブフィルタ電源線の(赤)R相、(青)T相に3A以上の電流が流れていることを確認してください。
 ・エアコン本体の入力電流は、現地接続配線側で測定してください。
 ・アクティブフィルタ電源線の電流値確認方法は右図を参照ください。
 ・測定作業中は測定器具の使用方法を守り感電事故を防ぐため絶縁保護具を着用してください。

